



令和4年度普通科 特別進学・進学クラス 第1学年英語コミュニケーションI 学習進度・評価表 (英語)

2学期	達成目標/ 評価の観点	9, 10, 11月		12月 (1月始業式前まで)	
		中間	期末	考査後+冬補習	
英語コミュニケーションI 使用教科書 Power On (東京書籍)	レッスン および 達成目標	<b>Lesson 5 Banana Paper</b> 内容設定目標 世界に貢献する日本の技術、産業を紹介できる。 言語設定目標 レポート作成に必要な Academic Language を理解することができる。	<b>Lesson 6 Patterns in Human Behavior</b> 内容設定目標 人間の心理を利用した「行動促進・抑制」の提言を行うことができる。 言語設定目標 推測⇔断定の表現を区別して用いることができる。	<b>Lesson 7 No Plastic or No Future</b> 内容設定目標 地球が直面する問題について考え、分析し、解決策を考えることができる。 言語設定目標 提案・禁止の表現を使って表現できる。	<b>Mama's Bank Account</b> 内容設定目標 冬に読んだ英語の小説を他の人に紹介できる。 言語設定目標 間接話法、直接話法の違いを理解できる。推薦表現を使える。
	知識・技能 4つの要素をすべてのレッスンで評価。「各要素」と「考査」で評価。	○banana について、各パートをグラフィックでまとめ、自らの言葉でサマライズできる。 ○ディクテーションアクティビティ等による正確なリスニングによる情報のインプットと意味を把握した音読をすることができる。 ○やりとりや、プレゼンテーション、課題レポート作成に必要な機能的言語表現を理解することができる。 ○プレゼンテーション、新聞記事、課題レポートの構成・言語を理解することができる。	○Question & Answer 形式の各パートをグラフィックでまとめ、平易な表現を用いて散文形式に変換できる。 ○ディクテーションアクティビティ等による正確なリスニングによる情報のインプットと意味を把握した音読を行うことができる。 ○やりとりや、プレゼンテーション、課題レポート作成に必要な機能的言語表現を理解することができる。 ○プレゼンテーション、課題レポートの構成・言語を理解し、推測の表現に注意できる。	○プラスチックがもたらす問題を観点別にグラフィックでまとめ、自分の言葉でサマライズできる。 ○ディクテーションアクティビティ等による正確なリスニングによる情報のインプットと意味を把握した音読をすることができる。 ○やりとりや、プレゼンテーション、課題レポート作成に必要な機能的言語表現を理解することができる。 ○プレゼンテーション、課題レポートの構成・言語を理解し、推測の表現に注意できる。	○教科書の内容を「筆者を客観的にとらえて」、visual Aid を用いてサマライズできる。 ○プレゼンテーションに必要な機能的表現を理解し、使用することができる。
	思考力・判断力等 3つの要素をすべてのレッスンで評価。「各要素」と「考査」で評価。	○日本の和紙作りの技術を調べ(教科書以外の情報)、Banana Paper がどのようにできるかについて、3人グループで中学生に紹介する英語新聞を作成することができる。(実物を入手) ○ Japanese technology can solve the world problems and will save the world. という質問の焦点にたいして、3人グループで質問を作り、調査・発表することができる。(理科教員とのコラボ) ○ グループプレゼンテーション後に、グループの発表を英語でまとめ、教員向けにレポートを作成することができる。	○人間の心理状態を利用した「行動促進・抑制」について調べ、3人のグループ内で発表することができる。 ○ グループで最も興味のある「人間の心理状態」と「行動促進・抑制」について選び、データなどを提示して persuasive なプレゼンテーションを行うことができる。 ○ グループプレゼンテーション後に、グループの発表を英語でまとめ、教員向けにレポートを作成することができる。	○ Plastic waste mainly causes serious damage to the earth. という質問の焦点に対して、3人グループでできるだけ質問を考え、その質問に対して探究することができる。 ○ 質問に対する分析、解決策をデータなどを提示して persuasive なプレゼンテーションを行うことができる。 ○ グループプレゼンテーション後に、グループの発表を英語でまとめ、研究論文(または教員向けのレポート)を作成することができる。	○冬休み中に読んだ英文で書かれた本について、クラスメイトに「その本の素晴らしさについて」合理的な理由とともに述べる ことができる。 <ビブリオバトル>を英語で行う。
主体的に学習に取り組む態度 自己評価、他者評価と教員評価で行う。	○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。	○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。	○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。	○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。	

# 令和4年度普通科 特別進学・進学クラス 第1学年英語コミュニケーションⅠ学習進度・評価表（英語）

3学期	達成目標/ 評価の観点	1, 2月		3月
		学年末		考査後
英語コミュニケーションⅠ 使用教科書 Power On (東京書籍)	レッスン および 達成目標	<b>Lesson 8</b> <b>Oh my Cod!</b> 内容設定目標 特定の魚の減少について、乱獲の歴史の視点から理解し、解決策を提案することができる。 言語設定目標 過去形、完了形の使用により歴史的な背景を表現できる。 提案・禁止の表現を使うことができる。	<b>Lesson 9</b> <b>Is E-sports a Real Sport?</b> 内容設定目標 自らの学校に e-sports club を作ることにについて、利点と欠点を分析し、導入に対する提案を行うことができる。 言語設定目標 論理的な英語表現をもちいて自分の意見を相手に適切に伝えることができる。	<b>Lesson 10</b> <b>Being Different Is Beautiful.</b> 内容設定目標 将来の夢について考え、夢に向かうプランを紹介できる。 言語設定目標 直説法と仮定法の違いを理解して用いることができる。
	知識・技能 4つの要素をすべてのレッスンで評価。「各要素」と「考査」で評価。	○fish and chips について、歴史的な背景、レシピ、外見、手軽さの観点別にグラフィックでまとめ、自分の言葉でサマライズできる。Part 3 については、歴史的な乱獲による漁獲量の減少について、Visual Aid を用いて説明できる。 ○ディクテーションアクティビティ等による正確なリスニングによる情報のインプットと意味を把握した音読をすることができる。 ○やりとりや、プレゼンテーション、課題レポート作成に必要な機能的言語表現を理解することができる。	○ニュースの実況中継・やりとりを客観的な視点でグラフィックを使ってまとめ、自分の言葉でサマライズできる。 ○ディクテーションアクティビティ等による正確なリスニングによる情報のインプットと意味を把握した音読をすることができる。 ○やりとりや、プレゼンテーション、課題レポート作成に必要な機能的言語表現を理解することができる。 ○プレゼンテーション、課題レポートの構成・言語を理解し、推測の表現に注意できる。	○教科書の内容を「ヨシダナギさんの人生」に焦点を当てて、サマライズできる。 ○プレゼンテーションに必要な機能的表現を理解し、使用することができる。
	思考力・判断力・表現力等 3つの要素をすべてのレッスンで評価。「各要素」と「考査」で評価。	○生徒自身が好きな料理について、その料理が誕生した歴史的な背景とレシピについて調査し、Visual Aid を用いて3人のグループ内で発表することができる。そのあと中学生向けに新聞形式で料理についての紹介を作成することができる。 ○ The cod are no longer found in their former numbers. という質問の焦点にたいして、3人グループで質問を作り、調査・発表することができる。 ○ グループプレゼンテーション後に、グループの発表を英語でまとめ、ホームページで公開。/ あるいは研究論文（あるいは教員向けのレポート）を作成できる。	○ e-sports について、普及規模、利点・欠点、将来性等について3人グループで調査し、調査結果を中学生に紹介する英語新聞を作成することができる。 ○ 「e-sports club を勝山高校に作るべきである」というテーマについてディベートおこない、自らの主張を相手の主張をもとに適切に調整することができる。 ○ ディベート後に、ディベートを行った対戦相手とともに、e-sports club を勝山高校に導入するべきか否かについて判断を下し、校長あてに「導入に対する提案書」を英文で作成できる。（ホームページで公開。）	○高校1年生の現在における将来の夢に対して、クラスメイトに「それを実現する過程・計画」を述べるることができる。
主体的に学習に取り組む態度 自己評価、他者評価と教員評価で行う。	○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。	○グループ活動で、他のメンバーと役割分担を行い、自らの役割を果たそうとする積極的な態度を示すことができる。 ○信頼のある情報を取り入れ、それを英語で表現しようとする態度を示すことができる。 ○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。	○自分の表現活動から改善点を見つけ出し、改善する努力を行う態度を示すことができる。	